
シュライン-ワルツ《shrine-waltz》

紫衣 玲

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

シユライン・ワルツ『shrine-waltz』

【Zコード】

N8332Y

【作者名】

紫衣 玲

【あらすじ】

この小説はAmebaブログからの転載です。

高校1年生の輝栄・悠はある日シユラインという能力を持つ少女、暉阜・祠宇と出会う。実は悠は彼女と以前にも会っていたことがあります。

どうも紫衣・玲というものです。きちんととした体裁で小説を書くのは初めてですがよろしくお願いします。どこまでうまく書けたかわかりませんが…この作品は、一応ライノベルです。つまりノベルのお決まりは一応起きます。そういう展開は嫌だ!という方は前書き中に切ってもらっているのです。

「あれ？」

輝榮

輝栄・悠：15歳・高校1年生・趣味は知恵の輪などのパズル全般を解くこと、好きなモノは紅茶・マカロンなどお菓子、嫌いな物は初対面で馴れ馴れしくしてくる奴…は困り果てていた。

…どうして家電売り場に…？食料品売り場じゃないのか…？」

そう迷っていたのだが、彼は先戸てきた。ショッピング・センターに来ていた。いつもなら家に近くのコンビニで済ませるが、今日はどうしてもショッピング・センターに行かなければならぬ理由があった。それは…

「紅茶の茶葉、早く買わないと…」

そう、紅茶のストックが無くなつたのだ。今まではネットで頼んでいたが、ショッピング・センターに紅茶専門店があると聞き、入学して1ヶ月立つ学校の帰りに寄つてみたのだ。

「しかし...本当に迷ひ切つたな。いつもせりんない」とないのに...」

彼は特段方向音痴ではない、しかし初めての環境では人間は普段なら考えられないことを起こすものである。悠は一時間ぐらいこんな風に歩き回っていた。今はなぜか家電売り場のテレビのコーナーに来ていた。目の前では、大小様々なテレビが様々な番組を写していく。ただ歩きまわってもまた迷うだけなので、それを眺めながら次の行動を考えていた。その時、

女性の悲鳴のようなものが鳴り響いた。悠也は人々も悲鳴がした方向へ向いた。しかし、悠はなにか違和感を感じ、テレビに視線を

戻した。そこには

自分が写つていた。

一台だけでなくすべてのテレビが彼の姿を写していた。しかし他の人々はそれに気づかない、気づくはずもない。なぜなら、もともと

悠以外には誰もいなかつたのだから。

「え…なんで…？」

彼の心を違和感は確実に蝕んでいった。なぜ自分が写っているのか、なぜ今さつきまで板人々は消えたのか…

違和感…

違和感…

違和感違和感違和感違和感違和感…

違和感違和感違和感違和感違和感違和感違和感…

違和感違和感違和感違和感違和感違和感違和感違和感…

違和感違和感違和感違和感違和感…

違和感は恐怖に変わつていく。異様なものをすぐに受け入れられるほど人間はタフではない。

コワイ…

怖い…

コワイ怖い恐いコワイ怖い恐いコワイ怖い恐いコワイ怖い恐いコワイ怖い恐い…

彼の目は揺れる、彼の足は震える、彼は止められない。

そして悠は我に返る。今は悲鳴のした方に行かないと… そう思った。そうしたらこの現実離れした馬鹿げたことからも逃げられるだろうから… そんな気もしていた。そして彼は悲鳴のした方へ向かう。まだ、悲鳴がしてからはそう時間が立つていない。誰かが致命傷を負ついていてもまだ助けられるかも… そうやつて今、体験したことを記憶の隅に押しやつていった。

「はあはあ」

しかしいくら走つても、あの強烈な情景は目に焼き付き、消えない。しかし今は悲鳴がした方へ向かう。なぜか足が止まらないのだ。まるで引きこまれていてるかのように。そして意識は薄れしていく。まるで誰かに操られているかのように…

どうだったでしょうか？あらすじに出てた祠宇って子は！？というかシユラインって何！？そう思つている方、もう少しお待ちください。あとこの作品あの作品のパクリじゃね？ということがあつたら、言つてください。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8332y/>

シュライン-ワルツ《shrine-waltz》

2011年11月24日21時19分発行